

幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会 News【第 2 号】

平成 17 年 12 月 1 日、平成 17 年度 第 2 回幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会を開催しました。



▲第 2 回 幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会の様子

委員からのプレゼンテーション

プレゼンテーションの内容をご紹介します。

【榊原委員】

◆鮭の飼育放流活動から見た幾春別川について

- ・ 市民が豊かになっていくためには、治水、利水、環境の問題を総合的に判断して川を見ていく必要がある。
- ・ サケの採卵、受精実習体験等により言葉では伝わらない大切なことを子供たちが体験できるようになれば良いと思う。

【折笠委員】◆幾春別川を歩く

- ・ これから行政と地域が一体となって川をいかした地域作りを進めていく必要がある。
- ・ 幾春別川というブランドを市民がいかしていくために、地域の中で話し合いをしていく必要がある

【高篠委員】◆学びと遊びの幾春別川

- ・ 河川を活かした多様なイベントが開催され、河川管理者との連携がうまくできている。
- ・ 自然を取り入れた河川改修ではカヌーイストが参加して日本一のプレイスポットとなっている。

平成 17 年度 第 2 回幾春別川ふるさとの川づくり懇談会を、以下のとおり開催しました。

- ・ 日時:平成 17 年 12 月 1 日(木)
10:00~12:00
- ・ 場所:岩見沢コミュニティープラザ
多目的ホールA

当日は委員 11 名が出席されました。事務局から幾春別川河川整備計画に関する情報提供が行われたあと、「幾春別川の良いところ、悪いところ」をテーマに 3 名の委員からプレゼンテーションをしていただきました。その後委員による意見交換が行われました。

意見交換の中で、「情報提供」や「市民参加」、「行政と地域の連携」などの意見が出され、活発な意見交換が行われました。

幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会 委員

氏 名	所 属
折笠 弘忠	(社)岩見沢青年会議所 理事長
嵯峨 義輝 (座長)	幾春別川をよくする市民の会 会長
榊原 郁子	北海道教育大学岩見沢校 名誉教授
高篠 和憲 (副座長)	三笠の湖・川・緑を愛する会 会長
田端 朗子	空知森林管理署 治山課長
奈良 健二	空知管内商工会連合会 会長
深田 倫男	岩見沢市教育委員会 教育部長
宝沢 康晴	FM はまなす JAPAN 放送局 部長
眞野 弘	北海土地改良区 理事長
北山 一幸	三笠市 建設管理課長
菅原 重徳	北村 建設課長
橋本 秀之	岩見沢市 建設管理課長
西垣 幸夫	札幌土木現業所 岩見沢出張所長
藤田 満士	桂沢ダム管理所長
長平 英雄	幾春別川ダム建設事業所長
平野 令緒	岩見沢河川事務所長

第2回懇談会の主な発言をご紹介します。

幾春別川の良いところについて

- ・ 幾春別川をよくする市民の会の活動は、岩見沢市の関係部局、岩見沢河川事務所が連携して行われている。
- ・ 携帯電話やインターネットにより河川の流量情報等の入手が容易になった。
- ・ 幾春別川は自然と四季の変化が豊かである。
- ・ 河川流量が長期間豊富で安定している。
- ・ 幾春別川の副読本は岩見沢市、三笠市、北村の3市村合同で学校教育者も参加して作成されており学術的にも優れていると思う。
- ・ 副読本を作成するにあたって、作成に関わった先生をはじめ、多くの人たちが学校教育について見直す良い機会になったと思う。
- ・ 幾春別川の上流域は自然の中での優れた景観だと思う。
- ・ 国道12号～JR橋にかけて丘陵地をいかしたポプラ並木が良い景観だと思う。
- ・ 桂沢ダムの景観が一番良い時期は、5月下旬から6月上旬の新緑と紅葉の時期である。

幾春別川の悪いところについて (こうすれば良くなる！)

- ・ 副読本に書かれているような情報を河川事務所などから提供できるようになれば良いと思う。
- ・ 総合学習の中で学ぶ内容として、体験するばかりではなく治水の歴史等についても教えていく必要があると思う。
- ・ 貯水池公園を改良しPRすることで今よりも利用することが出来ると思う。
- ・ 山に植樹するなどの山と川とが一体となった保全活動を地域一帯となって実施していくべきだと思う。
- ・ BODは基準値を満たしているが地質の影響で濁る時期がある。

その他

- ・ 札幌圏からのスローライフエリアとして、カヌー、ラフティング等で観光に活かすことが出来れば良いと思う。
- ・ 学校教育や市民参加を通じて川のことをより良く知ることが大事だと思う。教育を通して幅広い視野を持てる子供達を育てていくことが必要だと思う。
- ・ 幾春別川の水は、桂沢ダムの水位が低いときはかなり濁っているが、それ以外の時はそれほど濁っていない。
- ・ 幾春別川と石狩川に挟まれている4kmのデルタ地帯は、将来良い自然環境となり得る場所だと思う。この場所でサイクリングやキャンプ等が出来るような環境作りができれば良いと思う。
- ・ 町づくりを活性化させるために、関係機関が総合的な提案をしていくべきだと思う。
- ・ 昔は自分で体験して危険なことを学習していたと思う。
- ・ 幾春別川は上流から下流まで多様な顔を持っている河川だと思う。

事務局からのお知らせ

「幾春別川ふるさとの川づくり懇談会」は公開で行い、どなたでも傍聴できます。開催日が決まりましたら、以下の場所に開催案内を提示します。

- ・ 三笠市、岩見沢市、北村、石狩川開発建設部、岩見沢河川事務所の掲示板

今回は河川管理者と地域住民の皆さんとのパートナーシップの構築について意見交換をしていきたいと思っておりますので、是非ご来場ください。

ご意見やお問い合わせは、下記事務局
石狩川開発建設部 岩見沢河川事務所
〒068-0007 岩見沢市7条9丁目
TEL 0126(23)9555
FAX 0126(25)1697
まで、お気軽にお寄せください。